

雄志・八千浦中学校区 同和教育だより

<雄志中・八千浦中・諏訪小・戸野目小・上雲寺小・高士小・八千浦小 共同発行>

[平成28年7月 No. 5]

ともに、学ぶ。

～7校の学校運営協議会委員による現地学習会（6/7）～

上越市内では初めての試みとして行われた、学校運営協議会委員による「同和教育 現地学習会」の様子をお知らせします。お忙しい中ご参加くださった23名の皆様、誠にありがとうございました。



渡辺秀明さん（部落解放同盟新潟県連合会 上越支部長*写真…上左）からは、ご自身の体験に基づいた、深く考えさせられるお話を聞きました。次に、横山明夫さん（上越市社会教育指導員*写真…上真ん中）から、差別の状況や歴史的経緯について説明を受けました。その後は、質疑応答や意見交換が熱心に行われました。

<参加者の感想から>

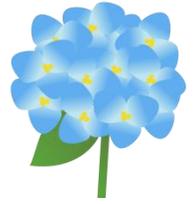
- 真実を知らないことは、恐ろしい誤解を生むことがあるということを現実を知ることができた。差別なんてもうないと思っていたが、無知であったと反省し、他の人にも今日の話を広めていきたい。
- 差別が始まった時期から現在に至るまでのプロセスの流れを初めて知った。これを機会に多くの人たちに伝えていきたいと思います。
- 子どもの教育と同時に、大人に真実を伝えることが必要だと感じました。

「同和教育 研究指定地区制度」は、上越市で平成17年度以降、中学校区を単位とするブロックを2年単位で順番に指定して、行われているものです。今年度も、7校で力を合わせて、同和教育を中核とした人権教育に取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

諏訪小では、2学期に、同和教育の授業公開を全学級で行う予定です。また、人権教育や同和教育についての児童の学び（ワークシートに書かれた感想など）を持ち帰って、ご家族に読んでいただいたり感想をいただいたりして、学びを深めたり広げたりしていきたいと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。



《各校の実践紹介 ④ 上雲寺小学校》



人権意識を高め、いじめや差別、偏見のない

安心して学べる学校生活

上雲寺小学校では、学級での生活や「つばさっ子班」（縦割り班）活動を中心に、相手の気持ちを思いやる言動や優しい心持ち、いじめや偏見を許さない実践的態度などを育てています。そうした豊かな心が、誰もが安心して学び、生活できる学校づくりにつながると、強く考えるからです。道徳の時間や同和学习を中核に、よりよい自分を育てています。

つばさっ子班活動

同和学习や道徳の時間を中心に身に付けた差別や偏見を許さない実践力を「つばさっ子班」（縦割り班）活動で発揮しています。班員みんな



高田公園に遠足

で絆を深め、互いに思いやり合い、助け合って活動します。

遠足や長い昼休み、児童会行事、お弁当給食など縦割り班の活動をみんなが楽しみにしています。互いのよさを認め合うトレーニングや読書旬間の班長による読み聞かせなど、つばさっ子班の活動を大切に、教育活動を展開しています。



1年生ようこそ！

同和学习

「同和学习」を保護者、地域の方々に公開しています。真剣な眼差し！



1年生：リレー競争から、本当の友達について考えを深めました。



2年生：ごみ収集にかかわる人々の仕事から、職業による差別や偏見について考えました。



3年生：仲のよい学級になるためには、何が必要か考えました。



4年生：ゾウの仲間はずしの資料をとおり、違っている部分への差別を考えました。



5年生：いじめの構造について知り、いじめを受ける側の切ない心情について話し合いました。



6年生：人権の歴史について学び、古代・中世にかけて「ケガレ」「浄め」の概念を知りました。